

技術を磨いて社会に貢献

建設コンサルタンツ協会 会長 野崎 秀則



近年、自然災害が頻発化・激甚化しています。

また、日本の社会が老朽化し、その影響が懸念されています。さらに、人口減少・少子高齢化が進む中、日本の国際競争力が相

対的に低下している状況です。そして、アフターコロナ社会の新たな働き方・暮らし方や、SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成に向けて持続可能な社会づくりが求められています。

このような背景の中で、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が積極的に推進されています。今後は国際競争力を高め、社会経済活動

を支える交通インフラや国民の命と財産を守る防災インフラ等について、予算の裏付けのある中長期計画を策定し、公共投資を安定的かつ着実に推進することが重要と考えます。

その公共投資の見通しを踏まえ民間投資が促進され、相乗効果により社会経済活動全体が活性化されるものと考えます。建設コンサルタントとしては、このような

インフラ事業を通じて、多様化・複雑化する社会課題に対して、安全・安心な社会、快適・活力ある社会、魅力ある持続可能な社会の創造に向け、技術を磨き、社会に貢献して参ります。また、建設産業が優秀な若者の夢と希望を実現できる場であるために、インフラ事業に対する構想力や技術力が評価され、また、DXの推進によりさらなる生産性向上や働き方改革を進めるなど、建設産業の魅力向上につながるよう行動して参ります。